



矢野中通信 6月号

家庭学習の定着を図ろう

あらゆる樹木が様々な色の若葉を茂らせ、校舎の周りの山々を柔らかく包んでいます。さわやかな新緑の5月が過ぎ去り、梅雨の時期を迎える6月に入ります。梅雨という言葉を聞くと、何となく身体がだるく感じられます。しかし、この時期にしか味わえない自然の美しさに出会うこともあります。この時期ならではの美しさや楽しみを発見しながら、さわやかに生活を楽しみましょう。

学校では、落ち着いた中で様々な活動に取り組んでいますが、より充実した生活とするために、さらに規則正しい生活習慣を身に付けて欲しいと思います。家庭においては「早寝・早起き・朝ご飯」ということを基本にして頂きたいと思います。特に、朝ご飯をしっかり食べること。食べないと、午前中4時間の授業に身が入りません。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

また、家庭での学習習慣を身につけさせるため、学習については「理解は学校で、定着は家庭学習で」と考えております。学校で授業の内容が理解できても、「1週間経ったら忘れた」では学習したことになりません。学習したことを忘れないようにするには「復習」しかありません。ぜひ、家庭での復習の時間を確保できるよう、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

体育祭の観戦、応援、ありがとうございました

天候にも恵まれ、多くの来賓の方や地域、保護者の皆様の観戦のもと、第68回体育祭を開催する事ができました。吹奏楽部のマーチングに始まり、競技が開始されると、生徒たちのさわやかな頑張りに感動が起こり、大きな拍手が飛び交い、あつい声援を頂きました。

また、午後からの応援合戦では、3色の応援団の工夫を重ねた応援に、拍手喝采を浴びました。学年ごとの競技も大いに盛り上がり、学年や学級の団結力が更に高まりました。体育祭の成功により、互いに協力し、力を合わせることの喜びを身につけ、今後の生活に生かすことができそうです。



心のこもったあいさつを！

挨拶は、日常の生活の中で、時間や場所を考えて使っています。現在も企業に就職した1年目の社員教育は、挨拶の練習から始まるそうです。自分の身体に身に付く挨拶を心がけましょう。

なぜ、挨拶が大切なのかというと、挨拶は相手とのコミュニケーションをとる上で、欠かすことのできない話し始めの「きっかけ」を作ってくれるものになっているからです。

挨拶をすることで得られる六つの効果があります。

- ① 大きな声で挨拶をすると気持がよい。
- ② 笑顔になる機会が増える。
- ③ 相手からの印象が良くなり、人間関係が良好になる。
- ④ 常識のある人という評価を得られる。
- ⑤ 挨拶から会話が始まる。
- ⑥ 今すぐにでも始められる。

矢野中学校での挨拶は、自分の方から立ち止まり、笑顔ではっきりと、挨拶をする。

皆さんも実践していきましょう。